



キリストを現代に伝える人たち ～エリック・リデル～

1924年のパリ・オリンピック、400m走の金メダリストの中にイギリス代表のエリック・リデルの名がありました。彼は敬虔なクリスチャンでした。本来100m走で金メダルを見込まれていた彼は、その日が日曜日だったため、出場種目を変更したのです。このエピソードは映画「炎のランナー」で詳しく描かれています。パリ・オリンピックの直後、リデルは栄光に輝くキャリアを捨て、宣教師として、中国に赴きました。やがて、第二次世界大戦が勃発。彼は家族を国外に逃がし、危険も顧みずに1人中国に残って宣教を続けましたが、ついに日本軍に捕らえられ、収容所に入れられました。それでも彼は、そこで聖書の教えを説き続けたのです。「自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい」(マタイの福音書5章44節)。これが彼のメッセージでした。収容された人々にとって「敵」と言えば日本人でした。日本人を愛するなど到底無理なことでした。しかし、リデルは日本人を愛し、日本人のために祈ったのです。その彼の言葉と姿は、収容所にいた多くの人々に感銘を与えました。

インタビュー

今月は、今年成人式を迎えたM君とK君にインタビューしました。二人は小さい時からの友達で、ずっと一緒に教会学校に来ていた仲間です。

— 成人式おめでとございます。今の心境をお話してください。

M: 僕は小学生の時に神様を信じて、クリスチャンになりました。今は大学で教師になる勉強をしています。本当に大切なものを見つけたので、子どもたちにもそれを知ってほしいと願っています。

K: 僕は、商学部に通っています。神様を信じて、生きる目的がはっきりしたので、大学生活はとて有意義で楽しいです。

— 来月、アフリカのタンザニアに行かれると聞きましたが?

M: 宣教師のお宅に約1か月間ホームステイさせていただきます。初めての外国旅行なので少し緊張していますが、待ち遠しいです。

K: 神様がどのように導いてくださるか期待しています。アフリカにしかないものをいっぱい見て感じてきたいと思います。

— それは楽しみですね。帰ってこられたらぜひまたお話を聞かせてください。ありがとうございました。



《餅つき大会》
息の合った二人でお餅をつきあげました



《成人祝福式》
二人のために祈りがさげられました。

宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信中!
ホームページから利用できます。

INFORMATION!!

チャペルコンサート Vol.31

オカリナコンサート

入場無料

3月31日(日)15時~

TOPIC!!

餅つき大会

毎年恒例のお餅つきを今年も行ないました。



心を込めて丸めました。

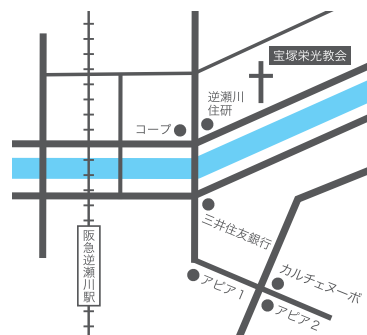


お母さんと一緒に!

デイサービス
オリーブの実

見学・体験利用受付中!
まずはお電話を!!

0797-73-6077



測り知れない神の恵み

私の好きな讃美歌に、次のようなものがあります。「神の恵みはいと深し、底も知れぬ海原に、夕日輝くガリラヤの海にもまさり深きかな」(讃美歌492番2節)。神様の恵みがどれほど深いものかを歌った讃美歌です。天地万物を創造された神様は、私たち一人ひとりを愛しておられます。私たちは弱く、ちっぽけな者ですが、神様は決して私たちを見捨てたりされません。

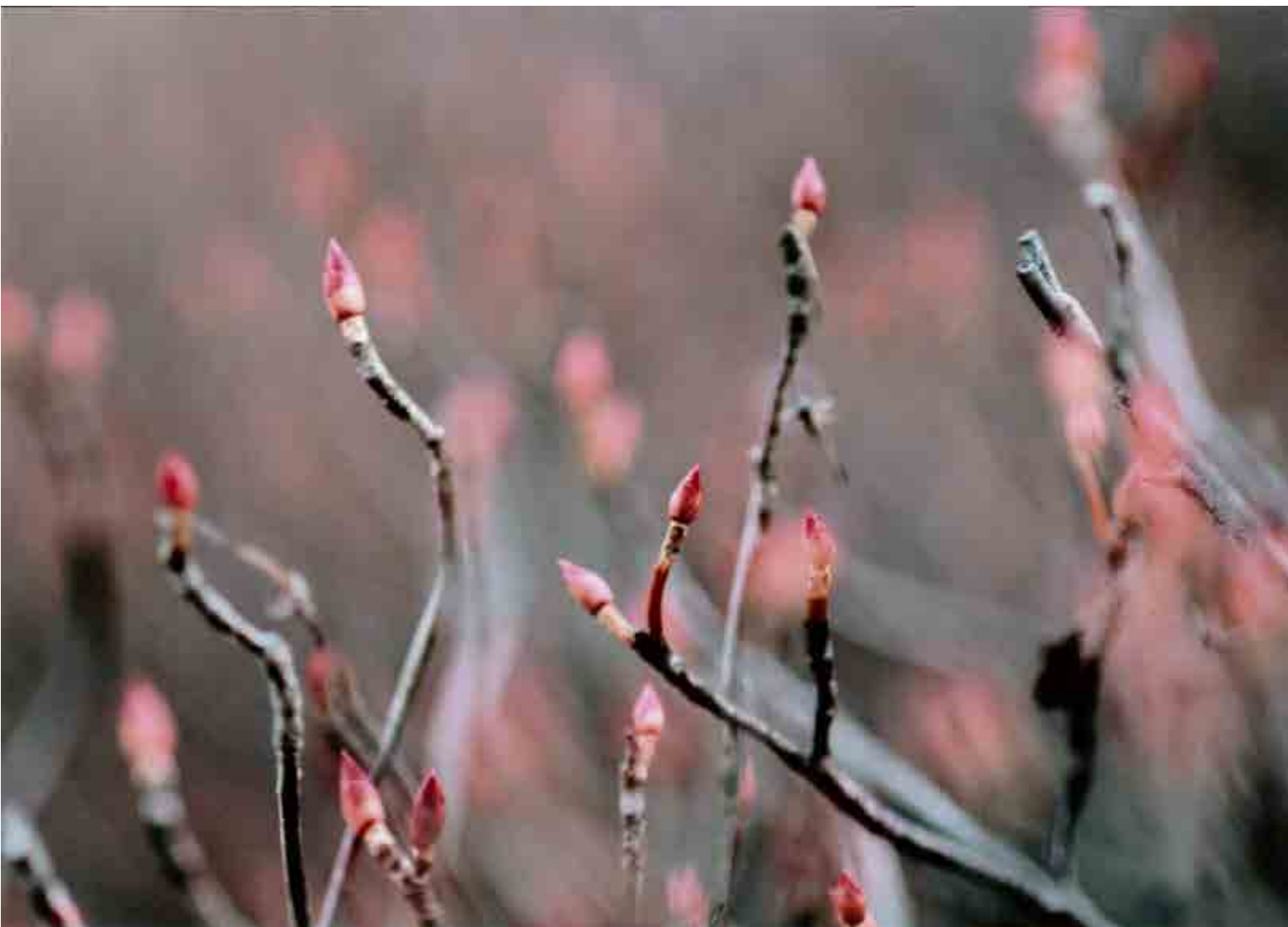
聖書の中に、古代イスラエルの王であったダビデの、このような言葉があります。「天が地上はるかに高いように、御恵みは主を恐れる者の上に大きい」(詩篇103篇11節)。天と地の距離は、測り知ることができません。そのように、神様の恵みは測り知れないほど深いのです。

その深さは、私たちのところに来てくださったイエス・キリストに現されました。キリストは罪のない神のひとり子でしたが、

十字架にかかって死なれました。それは私たちの罪のためでした。まことの神様を知らず、いや知ろうともせず、自分勝手な歩みが続けてきた罪人の私たちの身代わりとなって、キリストはいのちを捨てられたのです。

私たちが自分の罪を神様におわびし、キリストが十字架で死なれたのは、この私の罪のためだったと信じるなら、私たちのすべての罪は赦され、きよい心にされ、喜びと平安が与えられます。「主を恐れる者」とは、キリストを信じ受け入れ、私たちを愛してくださった神様の前に真実に歩む者のことです。そのような者の上に、神様の恵みはさらに注がれていくのです。

私たちを愛し、測り知れない恵みを与えてくださる神様を信じ、神様に信頼し、神様の愛に応えていく者とならせていただきます。



「ドウダンツツジ」

寒さはまだ 繰り返し 寄せくるようにあっても
春は まさに 近づいていることを 知っている
それは あちらこちらに きざしとして 見えている

どんなにつぶそうと 襲いかかっても
決してつぶされない

どんなに倒そうとしても 決して倒されない

確かな希望を 持つものは

それが内に しっかりあるから

何ものにも おびやかされない

春の到来を 待ちながら そんな事を思っている

この ドウダンツツジの 新芽には

そんな力強さが こめられている

やさしく たおやかに見えても

その先端を 上に向けている姿だ

美しく 可憐な花を 知っている

あの可愛らしい ドウダンツツジの花からは

およそ想像もつかない 厳しい寒さの中の姿がある

厳しさを 通り過ぎたから

現れ出る 美しさが あるのだろう

ドウダンツツジを 囲む空気は

もう 春のようだ

しかしわたしたちは この宝を 土の器の中に 持っている

その測り知れない力は 神のものであつて

わたしたちから 出たものでないことが 現れるためである

わたしたちは 四方から患難を受けても 窮しない

途方にくれても 行き詰まらない

迫害に会つても 見捨てられない

倒されても 滅びない

いつもイエスの死を この身に負っている

それはまた イエスのいのちが この身に現れるためである

(聖書)